

栄東まちづくり協議会 12月協議会 議事録

日 時：2023 年 12 月 7 日（木）18:30～21:00 場 所：栄東まちづくり協議会会議室

出席者：野田、田端、加藤、山内、近藤、江口、小澤、辻本、池田、渡邊、山岡、鈴木、只井

●定足数及び議事録署名人の確認

13 人中 13 人の出席で栄東まちづくり協議会規約第 10 条第 2 項の規定（在籍委員の過半数の出席）により有効に成立、議事録署名人は辻本委員と鈴木委員とする。

●ペーパーレス環境整備のトライアルの実施

委員 13 人にタブレット端末を配布し、今後の会議のペーパーレス化のトライアルとして電子データの会議資料での会議運営を試行した。

■議題

1.2024 年度予算（案）及び事業計画（案）について

各地域団体の予算要望と 2024 年度予算（案）について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 2024 年度予算について、各地域団体の会長と事務局で検討のうえ案を作成し、1 月協議会にて審議・決定することが全員一致で承認された。

（質問、意見及び回答）

【予算額の設定と実際の収入について】

- ・ 11 月までの売り上げ実績を踏まえ、来年度の予算は 5900 万円で編成する。実際の収入は予算（中位）に近い 5700 万円程度になることが予想されるため、実際に予算額が確定した際に 200 万円程度は減額して調整することになるということを認識いただきたい。

【予算（案）・事業計画（案）の検討方法について】

- ・ 資料で黄色く塗られた部分について協議すればいいのか。
 - それでいいののかも含め協議したい。事務局としては、固定経費に加え、各地域団体の予算要望の優先順位 1～3 位のものに付随する事業をピックアップしたが、それだけでも 200 万円ほど足りない状況である。それ以外の事業も含めると、現状の予算見込みでは 7000 万円近い金額となり、1000 万円以上減らす作業が必要である。
- ・ 今日の着地点は限られた予算の中で、全部大事だが何をやっていくのかを決めるということか。
 - 今日は委員の皆さんの意見をお聞きして、方向性が決まれば各団体に持ち帰っていただき、最終的には三会長と事務局で削るところを決めて予算を当てはめていくしかないと考えている。予算が減ることは確実なので、この機会に優先順位を付けた 19 個の事業をもう一度よく見直して、優先順位を話し合ってもらいたい。皆さんの意見を聞いたうえで、案を作り、1 月協議会で決めたいと考えている。

- ・将来的に予算が増える見込みがないことは確実なので、項目を精査する必要がある。分散化すると小さな事業になってしまうので、ここは思い切って事業を減らしていく考えが大事ではないか。
- ・何を減らすのか、何が大事かというところが難しいが、7000 万円あった時の事業内容なので、ある程度縮小していかなければならない。
- ・やれる事業をやるという考え方に変えないといけない。各団体によって優先順位が違うが、もう一度よく話し合っていていただいて絶対外せないものや事業の比較をしていただき、最終的には総合的に判断しないといけない。
- ・予算を減らす必要があるため、イベントを縮小や中止にする選択肢について言及したが、一方で、目に見えるものを無くしてしまい、その理由を尋ねられた時に全部ポートピアの売り上げが下がって補助金が減ったからという会話となることが予想される。それもどうなのかなと思う。
- ・事業を削った場合、当該年度になって急に増やすことは難しいため、事業の項目自体は置いておくのも一案である。
- ・地域団体で予算・事業を検討していただく際に、基本的な考え方を共有していただいたほうがよい。今後ポートピアの売り上げが大きく伸びることはないと思われるが、まず事務局職員がそろっていないと回っていかないので人件費等事務局経費はしっかり押さえておくこと、街路灯を中心とした財産を持っているのでメンテナンスや維持管理経費等がかかってくること、したがって今後も街路灯等財産を増やしていくと維持管理費も増えていくという事を念頭に置いて、どの程度増やしていくのが適切かを検討願いたい。イベントに関しては、人の交流・歴史等栄東地域としては何が一番大切なのかを振り返っていただき、どのようなバランスでやっていくべきか話し合っていたいただきたい。

【各事業に対する要望等】

●防犯事業（防犯カメラの整備）

- ・警察のために設置しているような状況のため、予算を減らす方向で考えた方がよい。
- ・必要最小限の更新でよく、閲覧要請回数の比較的多いという 4 か所 5 台のみでよい（5 か所 6 台の更新及び既設カメラの老松第 6 町内会カメラとの交換は不要）。

●防災事業（防災訓練）

- ・今年度の実施に当たり、風が強くテント設営の補強の必要性を感じた。協議会で指摘を受けたこともあり、設営の補強に係る外注経費は必要である。

●環境美化事業（まち美活動）

- ・まち美活動は、今年度 40 万 5 千円もらっているが、事業を始めて 1 年経ちだいぶ軌道に乗ってきて、町をきれいにしようという動きができてきたところなので、これを続けるために広報資料作成費の 20 万円は出していただけたら助かる。

●街路灯整備事業（広告パネルのデザインリニューアル）

- ・昨年度から話し合ってきたパネルのデザインリニューアルは絶対に実施することによって進めていただくようお願いしたい。

●多文化共生事業

- ・一生懸命やってくれているのは分かるが、地域との関わりを感じにくい事業である。

但し、一旦やめると再開が難しいかもしれないので、もう少し減らしてはどうか。

- ・多文化共生事業は実施したいと思っている。但し、今年度 240 万円程度も予算がかかっているとは思っておらず、また、来年度にこの規模の予算をつけられるかというのと難しく、意見を言えなくなってしまっている。

●地域活性化事業

○夏まつり

- ・もともとは協議会の予算なしでやってきた事業で、昨年度頃から設営の外注経費等の予算が大幅に増え、100 万円近くかかっている。何とか自助努力できないかなと考えている。まち会で集めている協賛金の財源もあるため、そういうものを使って実施できないかという意見が発展会での意見集約の際には出た。
- ・ビル協会の要望にある「開催日をずらす等様々な検討課題への配慮をした方がよい」というのはもっともな意見だ。また、夏まつりは続けるべきだと思うが、事業規模について、発展会では地域の人たちの協力していただける割合が少なくなってきており、なかなか今までの事業規模の対応が難しくなっている実情もある。どういうふう
に夏まつりを今後続けるかと言う話し合いも必要ではないかと思う。

○イルミネーションイベント

- ・予算を減らさなければならない情勢の中で、2 日目は中止しても良いのではないかという意見が発展会での意見集約の際には出た。

○夏まつり・イルミネーションイベント等イベントの委託費

- ・設営の外部委託費等、協議会の基準で発注するため高額になっていると思われる。運営会議で監査の観点等から行政委員より難しいとは言われたが、地域団体に委託し、委託費が下がった分を他の事業へ予算を回すという方法も検討しないと予算は減らないと思う。

○イルミネーションイベント及びイルミネーション装飾（公園・歩道）

- ・各事業の予算を減らさなければならない現状と、イベントは一時的に中止しても再開できるという観点も踏まえ、イベントと装飾（公園・歩道）を来年度は全て中止するというやり方もある。

○イルミネーション装飾（歩道）

- ・現在持っている装飾だけをつけ、順次歩道イルミネーションはなしにしていくということで来年度から対応してはどうかという意見が発展会の意見集約の際に多数出た。

○イルミネーション装飾（公園・歩道）

- ・イルミネーション装飾を捨てるという話が出ているが、補助金で作ったものには処分制限期間があり、製作の年度によるが、すぐに処分することはできない。そのため、一定年数の保管の経費はかかってくる。

●調査研究事業（まちづくりビジョンの検討）

- ・ビル協会から要望を出しているまちづくりビジョンの検討について、この街に来る人やこの街を外部から見ている人、第三者がこの街をどんな街だと思っているのか、この街に来る目的はなんなのか把握したうえで、それを土台として物事を進めないといいまちづくりはできないと思うため、本当はもっと早くからやるべきことだったと思う。来年度は、せめてその調査費だけでも出るような形で検討いただけないかと思う。

- ・何年か前に地域でまちづくりビジョンの検討をしたこともあり、その時も外部のコンサルタントに委託し、皆で長い時間かけて協議をしたにも関わらず、なかなか成果を出すのが難しいような状況だった。もう少し具体的に、実際にできるようなことを考えてやっていく必要があるのではないかという意見が発展会の意見集約時に出た。
- 事務費（人件費）
 - ・統括をする職員と補助金の適切な執行を管理する総務・経理を担当する職員、そして地域のまちづくりに大切な事業を担当する職員の、最低3名が必要な体制である。
- 事務費（ペーパーレス環境整備費）
 - ・ペーパーレスのタブレットについては、11月協議会で話した防犯カメラの考え方（第三者に所有権があるものを屋外でまちづくりに使うものとして設置するリスク）とは違い、事務所内の事務機器のため、各年度の予算を減らすという観点でも、リース契約にしてはどうか。
 - リース料率が分からないためあくまでも試算であるが、例えば4年間のリース契約にすると年間で約45万円となり、5年目からは買取で安くなるが、総額では一括購入より高くなる。尚、資料では2024年度の予算として147万4千円と記載しているが、常勤職員が1名足りない状態で執務している月がある関係もあり、2023年度の事務費の執行残が100万円程度となる見込みがある。そのため、経費全額を2023年度の事務費の執行残では支出できないが、タブレット24台の調達は2023年度予算で支出することもできていると考えている。そうすれば2024年度予算はセットアップ費用の55万円のみが所要額となるため、リース契約の年間の金額とあまり大差がない金額となる。
 - ・一度タブレットを購入してしまえば55万円のセットアップ費用は必ず必要になる。予算を比較すると55万円あれば他の事業に割り振ることもできる。ペーパーレスをやるかどうかも含めてどの事業を優先するのかをまず考えなければいけない。

2. 公園整備・活用事業について

(1) 池田公園の修景について

池田公園の修景について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 池田公園の修景の事業内容について、事業予算(500,000 円)の範囲内で、資料記載の仕様案を基に事業を進めることが全員一致で承認された。

(質問及び回答)

- ・看板の表示はどうなるのか。
→業者と契約をした後にデザインや色、表記等の具体的な内容を決めていく。

(2) 池田公園トイレの維持管理について

池田公園トイレの維持管理について資料の通り説明した。

＜審議事項＞ 池田公園トイレの維持管理の事業内容について、資料記載の事業内容案を基に事業を進めることが全員一致で承認された。

(質問、意見及び回答)

- ・トイレの掃除は誰がやっているのか。以前掃除をしていた人から最近は変わったように思い、掃除の仕方も違うのではないかと思う。
- ・年間で委託された中区担当の業者が実施している。

■報告事項

1. 街路灯整備事業 街路灯の追加整備について

街路灯の追加整備について資料の通り報告した。

(質問、意見及び回答) なし

2. 地域活性化事業 イルミネーションイベントの実施について

イルミネーションイベントの実施について資料の通り報告した。

(質問、意見及び回答)

- ・収支報告について、協議会の支出は予算内で収まったとのことだが、実際は飲食関係等他にも費用がかかっている。まち会で別途全体の収支報告をしてほしい。それを踏まえ、2024年度の予算を検討すべきだと思う。

3. 2022 年度栄東まち活性化事業補助金の返還について

2022 年度補助金の返還について資料の通り報告した。

(質問及び回答)

- ・ 4,934 円は職員に返すのか。
→名古屋市に返還する。
- ・ チェック体制はどうなっているのか。再発防止策を出して実行していただきたい。
→事務局－区役所地域力推進室－監事の流れでチェックをしている。誤った金額を計上した 3 月が人の異動等もあり確認が甘くなってしまったことも要因の一つであると考えられ、今年度からは途中経過も含め、チェックするようにしている。

■その他

1. 協議会の日程について

次回 1 月から 3 月の協議会の日程を以下の通りとすることと、次年度以降 1 年間の協議会の日程を前年度の 1 月協議会で決定し、4 月協議会で確認する案について説明した。

1 月 11 日(木)18:30～20:00 ※第 2 木曜
2 月 8 日(木)18:30～20:00 ※第 2 木曜
3 月 7 日(木)18:30～20:00

(質問、意見及び回答) なし

2. 事務局職員の退職について

経理・総務担当職員 1 名が 11 月 30 日を最終出勤日とし、退職することを報告した。

3. 池田公園イルミネーション写真コンテストについて

池田公園イルミネーション装飾に係り、ビル協会が主催する「池田公園イルミネーション写真コンテスト」があり、2023 年 11 月 24 日から 2024 年 1 月 10 日の期間で応募を受け付けていることを報告した。(ビル協会)

以上